

活用マニュアル

「すべての子どもが学びやすい環境づくり」振り返りシート（試案）～「授業のユニバーサルデザイン化」の視点をふまえて～

1 主旨

「対応に困る子がいる」「授業がうまくいかない」など、多様な子どもの指導・支援に難しさを感じたことはないでしょうか。「困った子」は、実はその子自身が「困っている」と言われます。通常の学級にいる学びにくさを抱える子どもの特性を理解し、学びやすい環境づくりにより、楽しく「わかる・できる」授業づくりを目指しましょう。このシートが、はじめの一歩を踏み出すきっかけとなることを願っています。

2 留意事項

- ・振り返りにより、これから取り組むことを明確にするシートです。
 - ・「学びやすい環境づくり」に向けたきっかけづくりのツールとして活用して下さい。
 - ・すべてを網羅した項目ではなく、万能なシートでもありません。1ヶ月間の活用後は、子どもの実態や学校の実情に応じた項目にするなど、全校での取組につなげて下さい。
 - ・十分な「子ども理解」が前提です。子どもに発し、子どもに還る指導・支援を目指しましょう。
- ※ このシートの対象は、**小中学校の先生方**です。
- ※ 各項目の主旨は、「解説編」に示してあります。校内研修等で活用して下さい。

3 手順

授業のユニバーサルデザイン化について「理解を深めるための研修」

- ・研修用に作成したパワーポイント及び資料冊子を使った研修を行い、その後、シートに取り組むと、より効果的にシートが活用できます。

A 現在の取り組みを振り返る ①に「○」

- ・あまり深く考えすぎず、短時間で行いましょう。
- ・追加したい項目がある場合は、「オリジナル」の欄に記入しましょう。

B 今後取り組みたい項目を選ぶ ②に「○」

- ・①に「○」がつかなかった項目から選びましょう。
- ・実行可能な項目を、**3つ以内(1つでもよい)**を選びましょう。
- ・「○」の中に優先順位を記入してもよいです。

C 実践する（およそ1ヶ月間）

1ヶ月後

- ・日々意識しながら実践しましょう。
- ・「解説編」を活用しましょう。
- ・この間に学年会や教科会でも定期的にお互い確認し合いましょう。

D 実践をふり返る ③に「○」

- ・1ヶ月後引き続き取り組みたい項目は④に「○」をし、達成したら「◎」をしましょう。
- ・A～Dまでの取り組みが終わったら、「全校の取り組みに向けた校内研修」のスタートです。
- ・学校教育目標実現の視点で、提案・決定をして「全校での取組」につなげてください。

学校の実情
子どもの実態

★全校での取組の提案・決定

E ★全校での取組を開始

4 活用の仕方

学校のニーズに応じた全校の取り組みにつながるように、校内研修の機会を生かし、学校全体で取り組む活用方法の一例を紹介します。

- (1) 「授業のユニバーサルデザイン化について理解を深めるための研修」と併せて、シート活用の主旨説明を、特別支援教育コーディネーターや研修係が行い、(A・B)を職員全員で取り組む。
- (2) 1ヶ月間実践する(C)。・・・各自「解説編」を参考にして実践する。
この間に学年会や教科会でも取り上げ、定期的にお互い確認し合うのも効果的でしょう。
- (3) 1ヶ月後にその「全校の取り組みに向けた校内研修」を特別支援教育コーディネーターや研修係が呼びかけて行う。
 - ・実践を振り返り(D)成果や困難点を出し合う。
 - ・「解説編」の読み合わせにより理解を深める。
 - ・学校全体で、共通して大切にしたいことを出し合う。
 - ・学校教育目標の実現という視点で取り組むことが、学校全体という意識につながります。
- (4) 出された意見をコーディネーターや研修係が集約し、職員会で、学校教育目標の実現に向けて全校で大切にしたい取り組みたいことを提案・決定する。
その時、全校で取り組もうと決めたこと進める上で、全校で揃える部分、クラスの実態に合わせたやり方を工夫する部分の両方を大切にしていきましょう。
- (5) 全校での取り組みを開始する。(E)